

[046]言語文化論究表紙奥付等

<https://hdl.handle.net/2324/4377710>

出版情報：言語文化論究. 46, 2021-03-25. Faculty of Languages and Cultures, Kyushu University
バージョン：
権利関係：

個人研究業績一覧

(2019年11月～2020年10月)

言語環境学部門

言語教育学講座

アームストロング、マシュー **Matthew Isaac ARMSTRONG**

【その他】

- Overcoming language barriers and boundaries: Video-mediated eTandem collaboration, VALS-ASLA 2020 Conference of the Swiss Association for Applied Linguistics, The University of Neuchatel, Switzerland, 2020年2月14日。(口頭発表)
- iLearn: A SciTech English initiative to increase outreach, EUROCALL2020, オンライン, 2020年8月21日。(口頭発表)

井上 奈良彦

【著書】

- *An Introductory Guide to Debating in English, Second Edition*. 花書院, 全 iii+85頁, 2020年9月。(共著)

【論文】

- 「クリティカルシンキング教育のためのアクティブラーニング型教材アプリの開発」『言語科学』第55号, pp. 27-40, 2020年3月。(共著)
- 「メガジャーナルに関する諸問題」『言語科学』第55号, pp. 75-85, 2020年3月。(単著)
- Request strategies in email communication: The case of Indonesian graduate students in Japan. *Studies in English Language and Education*, 7(2), pp. 379-392, 2020年9月。(共著)

【その他】

- 「クリティカルシンキング教育のためのアクティブラーニング型教材アプリの開発」第6回ディベート教育国際研究会大会, 2020年3月。オンライン。(共同発表)
- 「パネル：クリティカルシンキング教育と教育アプリの開発」第6回東京議論学国際学術会議, 2020年8月10-12日。オンライン。(共同発表)

ウロブレスキ、グレゴリ ジョン **Greggory WROBLEWSKI**

【論文】 (Articles)

- Analysis of Johnston's "Funeral Address for the Victims of the Atomic Bomb" From His English Translation of Nagai's *Nagasaki no kane*. *Studies in Languages and Cultures*, 44, pp. 39-46, March 2020. (単著)

朱 冰

【その他】

- 朱 冰「構文ネットワークから見た中国語における禁止表現から接続詞への転成」, 九州中国学会第68回大会, オンライン開催, 2020年10月. (レジュメ掲載+掲示板での質疑応答)

辻野 裕紀

【論文】

- 「韓国語教科書の難点を剔抉する — 「文字と発音」を中心に —」, 『言語科学』55, 福岡: 九州大学大学院言語文化研究院言語研究会, pp. 1-18, 2020年3月.

【その他】

- 「名詞と動詞のあわい — 日韓対照言語学の視角から —」, 九州大学大学院言語文化研究院中国語・韓国語合同FD, 於九州大学伊都キャンパス(福岡), 2020年1月18日. (口頭発表)
- 「韓国語から見た対照言語学の可能性 — 日韓対照言語学的思考の系譜と展望 —」, 第21回東アジア日本語・日本文化フォーラム, 於九州大学伊都キャンパス(福岡), 2020年2月22日. (口頭発表)
- 「対談: 悩める精神科医がものを書くとき(II)」(松嶋圭氏との対談), 『言語文化論』44, 福岡: 九州大学大学院言語文化研究院, pp. 85-95, 2020年3月. (対談録)
- 「ことばを喪失するという事, ことばを記録するという事」, 映画『マルモイ ことばあつめ』公開記念スペシャル・トークショー(田村元彦氏との対談), 於KBCシネマ(福岡), 2020年8月7日. (対談)
- 「韓国文学の魅力」, 「歩く文学, ソウルから東京・福岡まで: 〈文学〉と〈歩行〉を通じた新たな日韓交流のかたち」東京会場オンライントークイベント(イ・ジン(小説家), 岡裕美(翻訳家), 姜信子(作家), 佐藤結(映画ライター)との座談会), 於チェックリ(東京), 2020年10月3日. (座談会)
- 「文学から見る韓国社会」, 「歩く文学, ソウルから東京・福岡まで: 〈文学〉と〈歩行〉を通じた新たな日韓交流のかたち」福岡会場トークイベント(イ・ジン(小説家), 岡裕美(翻訳家), 姜信子(作家)との座談会), 於九州大学西新プラザ(福岡), 2020年10月4日. (座談会)
- 「名詞と動詞のあわい — 日韓対照言語学の視角から —」, 『言語文化論』45, 福岡: 九州大学大学院言語文化研究院, pp. 45-49, 2020年10月. (研究ノート)

言語環境学部門

言語情報学講座

伊藤 薫

【著書】

- 『修辞と文脈 — レトリック理解のメカニズム —』京都大学学術出版会, 全170頁, 2020年2月. (単著)

【その他】

- 「問題バンク管理と英語教育 — CALL科目運営経験をもとに —」次世代大学教育研究会,

- 番外編, 九州大学 (オンライン開催), 2020年3月2日. (口頭発表)
- 「Universal Dependencies コーパスを利用したレジスター研究の試み」言語処理学会, 第26回年次大会, 茨城大学 (オンライン開催), 2020年3月19日. (口頭発表)
- 「数千人規模を対象とした CALL 科目オンライン定期試験」次世代大学教育研究会, 番外編, オンライン開催, 2020年9月12日. (口頭発表)

内田 諭

【著書】

- 内田諭・稲垣紫緒 (監修) 九州大学共創学部ワーククエスト編集委員会 (著) 『ワーククエスト：世界とつながる上級英単』九州大学出版会, 2020年5月.
- 加藤重広・澤田淳 (編) 内田諭 (14章執筆) 『はじめての語用論：基礎から応用まで』研究社, 2020年3月.
- 投野由紀夫・根岸雅史 (編著) 内田諭 (14章, 17章執筆) 『教材・テスト作成のための CEFR-J リソースブック』大修館書店, 2020年5月.

【論文】

- Kazuki Ashihara, Tomoyuki Kajiwara, Yuki Arase, and Satoru Uchida, Contextualized context-2vec, *Proceedings of the 5th Workshop on Noisy User-generated Text (W-NUT 2019)*, pp. 397-406, 2019年11月.
- 芦原和樹・梶原智之・荒瀬由紀・内田諭 「多義語分散表現の文脈化」『自然言語処理』26(4), pp. 689-710, 2019年12月.
- 竹中野歩・内田諭・上土井宏太・中川詩奈・井上奈良彦 「クリティカルシンキング教育のためのアクティブラーニング型教材アプリの開発」『言語科学』55, pp. 27-40, 2020年3月.

【その他】

- Kazuki Ashihara, Tomoyuki Kajiwara, Yuki Arase, and Satoru Uchida, Contextualized context-2vec, *The 5th Workshop on Noisy User-generated Text (W-NUT)*, Hong Kong, China, 2019年11月. (口頭発表)
- Satoru Uchida, and Masashi Negishi, Assigning CEFR and CEFR-J levels to Lexile measures: A corpus-based approach, *New Directions 2019*, Pacifico Yokohama, 2019年12月. (口頭発表)
- Satoru Uchida, Yasutake Ishii, Yoji Kudo, Christopher G. Haswell, Danny Minn, Seiji Uchida, and Ichiro Akano, Constructing a bilingual Japanese-English collocations dictionary: A corpus-based approach, *The 18th Annual Hawaii International Conference on Education (HICE2020)*, Hilton Hawaiian Village, U.S.A. 2020年1月. (口頭発表)
- 内田諭 「英文の CEFR レベルの推定：CVLA の現状と未来」外国語教育メディア学会関西支部メソドロジー研究部会2019年度第3回研究会, 沖縄, 2020年2月. (口頭発表)
- 竹中野歩・内田諭・上土井宏太・張小英・中川詩奈・井上奈良彦 「クリティカルシンキング教育のためのアクティブラーニング型教材アプリの開発」第6回ディベート教育国際研究会大会, オンライン, 2020年3月. (口頭発表)
- 竹中野歩・張小英・軸屋邦彦・上土井宏太・内田諭・井上奈良彦 「クリティカルシンキング教育と教材アプリの開発」第6回議論学国際学術会議, オンライン, 2020年8月. (口頭発表)

- Satoru Uchida, Current issues in English education at Japanese high schools, Q-Webinar of Collaborative Studies on SDGs in Asia, オンライン, 2020年9月。(口頭発表)
- Satoru Uchida, Do group activities work online?: A case study of collaborative learning using Zoom, Q-AOS Symposium 2020, オンライン, 2020年9月。(口頭発表)
- Satoru Uchida, Takehiko Shimizu, and Saaya Kimura, A corpus based approach to creating an advanced wordbook for university students, JAECS2020, オンライン, 2020年10月。(口頭発表)

江口 巧

【その他】

- 「研究対象としての結果構文」九英会英語英文学談話招待講演, 九州大学, 2020年2月22日。(口頭発表)
- 「変化結果を表す in/into 前置詞句の交替について」日本英文学会第73回九州支部大会招待発表, Web 開催, 2020年10月24~28日。

大津 隆広

【論文】

- Modulation in Comprehension: Relevance-theoretic View. *Studies in English Language and Literature* (Department of English, Faculty of Languages and Cultures, Kyushu University), No. 70, pp. 1-11, March 2020.

大塚 知昇

【論文】

- Bauke, Leah and Andreas Blümel (eds.) (2012) *Labels and Roots* (Review). *English Linguistics*, 36, pp. 316-325, March 2020.

【その他】

- 「左周辺部と外在化」日本言語学会, 第159回大会, 名古屋学院大学名古屋キャンパスしろとり, 2019年11月16日。(口頭発表)
- 「Internal pair-Merge に関する考察」日本英文学会, 第92回大会, ウェブ学会, 2020年7月6-15日。(ウェブカンファレンス)
- 「Internal pair-Merge に関する考察」『日本英文学会第92回大会(2020年度) Proceedings』(日本英文学会), web 掲載, 2020年8月。
- 「カートグラフィとフェイズ理論の和解?」日本英文学会九州支部, 第73回大会シンポジウム, ウェブ学会, 2020年10月24-28日。(ウェブカンファレンス)

鈴木 右文

【その他】

- 19/11/14 (R1) 「外国語教育において目指す表現力とは何か」令和元年度国立七大学外国語教育連絡協議会合同シンポジウム, 東京大学駒場キャンパス, 2019年11月4日。(口頭発表)
- 「車椅子対応による短期海外プログラムの進化」『英語英文学論叢』(九州大学英語英文学研究会) 第70集, pp. 13-32, 2020年3月。(解説)

- 「コンパクトな大学学術英作文・プレゼンテーション教材の試み」『言語科学』（九州大学大学院言語文化研究院言語研究会）第55号，pp. 19-26，2020年3月。（鈴木右文，横森大輔，田中俊也，大橋浩，ショーン・オドワイヤー，スティーブン・レイカー，クリストファー・ハズウェル，浜本裕美で共著）（解説）
- 「ゴードン・ブラウンの時代」「バスロック」「車椅子対応」「キャメロンの時代」「メイの時代」「食べ物：スコットランド」「ブラウジング」「ロンドン大英博物館」「農業関係」「ボリス・ジョンソンが就任」「映画の授業」「ジャコバイト号」「林業・漁業関係」「映画への道：大林宣彦作品との出会い」「転校生」「ハリー・ポッター・スタジオ」「鉱業関係」FM福岡『QTPro モーニングビジネススクール』，2019年11月～2020年10月。（ラジオ）
- 「標的の島 風かたか」「i — 新聞記者ドキュメント —」「万引き家族」「リチャード・ジュエル」「パラサイト 半地下の家族」「FUKUSHIMA 50」「三島由紀夫 VS 東大全共闘 50年目の真実」「子どもたちをよろしく」「家族を想うとき」「なぜ君は総理大臣になれないのか」「タクシー運転手～約束は海を越えて～」 「マルモイ ことばあつめ」『反戦情報』422-433号，2019年11月～2020年10月。（コラム）

田中 俊也

【論文】

- “On the Distribution of the Strong Preterite Plural and the Preterite-Present Present Plural Forms in the Proto-Germanic System,” 『英語英文学論叢』（九州大学大学院言語文化研究院英語科）第70集，pp. 33-51，2020年3月。（単著）

【その他】

- 「コンパクトな大学学術英作文・プレゼンテーション教材の試み」『言語科学』（九州大学大学院言語文化研究院言語研究会）第55号，pp. 19-26，2020年3月。（鈴木右文，横森大輔，田中俊也，大橋浩，ショーン・オドワイヤー，スティーブン・レイカー，クリストファー・ハズウェル，浜本裕美で共著）（解説）

山村 ひろみ

【論文】

- 山村ひろみ，「スペイン語の「未来」と「過去未来」：その機能的類似点と相違点について」，『言語文化論究』No.44，11-26，2020.03.（単著）
- Hiromi Yamamura, “El pluscuamperfecto del español en comparación con el plus-que-parfait del francés en la narración”, Rafael García Pérez/Yuko Morimoto (eds.) *DE LA ORACIÓN AL DISCURSO Estudios en español y estudios contrastivos*, Peter Lang, 107-131, 2020.09.（単著）

横森 大輔

【論文】

- 鈴木右文・横森大輔・田中俊也・大橋浩・ショーン・オドワイヤー・スティーブン・レイカー・クリストファー・ハズウェル・浜本裕美，2020. 「コンパクトな大学学術英作文・プレゼンテーション教材の試み」，『言語科学』55，pp. 19-26，2020年3月。
- 横森大輔，「リング・フランカとしての英語使用場面における．断片的発話と認識的スタン

- スの調整],『日本語用論学会第22回大会発表論文集(第15号)], pp. 223-226. 2020年6月.
- Vatanen, Anna, Tomoko Endo, and Daisuke Yokomori. “Cross-linguistic investigation of projection in overlapping agreements to assertions: Stance-taking as a resource for projection,” *Discourse Processes*. 2020年9月. [DOI: 10.1080/0163853X.2020.1801317]
- Fuyuno, Miharū, Takeshi Saitoh, Yuko Yamashita, and Daisuke Yokomori. “Gaze-point analysis of EFL learners while watching English presentations: Toward effective teaching,” *International Journal for Educational Media and Technology* 14(1), pp. 17-28. 2020年9月.

【その他】

- 冬野美晴・山下友子・齊藤剛史・横森大輔. 「英語プレゼンテーション動画視聴時の日本人英語学習者の注視点解析」, 日本教育メディア学会第26回年次大会, 2019年11月2-3日, 徳島文理大学. (口頭発表)
- 横森大輔. 「リング・フランカとしての英語使用場面における断片的発話と認知的スタンスの調整」, 日本語用論学会第22回年次大会, ワークショップ「英語学習活動の相互行為における知識や理解の交渉」, 2019年11月23日, 京都外国語大学. (口頭発表)
- 横森大輔. 「応答練習を軸としたライティング/スピーキング授業の実践と学習者行動の分析」, 外国語メディア教育学会関西支部・基礎理論研究部会2019年度公開招待講演会, 龍谷大学大阪梅田キャンパス, 2020年1月26日. (招待講演)
- 横森大輔. 「反応表現の相互行為上の機能と韻律的バリエーション: 英語 really を例に」, シンポジウム「ことば・認知・インタラクション8」, 2020年6月27日, オンライン開催. (口頭発表)
- 横森大輔. 「会話は構文文法にどんな示唆を与えるか」, 日本認知言語学会第21回全国大会, ワークショップ「構文文法の基本的な考え方について問い直す」, 2020年9月5日, オンライン開催. (口頭発表)
- 横森大輔. 「楽器レッスン場面における生徒の聞き手行動: いつ「はい」と言い、いつ「うん」と言うのか?」, 日本認知科学会第37回大会, 2020年9月17-19日, オンライン開催. (ポスター発表)

国際文化共生学部門

国際文化学講座

秋吉 収

【論文】

- 「中日学術研究に横たわる隘路——周作人編『現代日本小説集』研究を例として——」『言語科学』(九州大学言語文化研究院)第55号, pp. 41-54, 2020年3月.

【その他】

- 「交差する日本現代文学と中国文学——魯迅研究の視点から」中国日語教学研究会2019年度学術大会暨日本学研究国際研討会, 杭州師範大学(中国杭州市), 2019年11月2日. (講演)
- 「現代中国文学和日本文学的交流——以周氏兄弟和一个日本女作家为中心」外国語学部日本語日本文学講座, 杭州師範大学(中国杭州市), 2019年11月4日. (講演)
- 「中国人日本留学生と近代日本文壇の接点——魯迅周作人兄弟の翻訳を端緒として」東アジアの民主主義を台湾から考える——雷震日本留学百年記念・逝去四十周年記念国際シンポ

ジウム, 愛知県立大学, 2019年11月9日。(口頭発表)

- 書評「藤井省三著『魯迅と紹興酒 お酒で読み解く現代中国文化史』『中国研究月報』(中国研究所)第74巻9号, pp.32-34, 2020年9月.

倉方 健作

【著書】

- ポール・ヴェルレーヌ『呪われた詩人たち』幻戯書房, 全280ページ, 2019年11月。(翻訳)
- 『プチ・ロワイヤル仏和辞典 第5版』旺文社, 全1782ページ, 2020年3月。(共編)
- 『プチ・ロワイヤル仏和辞典 第5版 小型版』旺文社, 全1782ページ, 2020年3月。(共編)

【論文】

- 「跛行と韻律 ヴェルレーヌの13音節詩句をめぐって」『STELLA』(九州大学フランス語フランス文学研究会)第38号, pp.239-249, 2019年12月.
- 「詩人たちのリュクサンブール公園」『ヨーロッパ文化研究』(成城大学大学院文学研究科)第39号, pp.65-78, 2020年3月.

【その他】

- 「ぐるりマレシヨール物語」(20)～(24), 『ふらんす』(白水社), 2019年11月号-2020年3月号。(連載コラム)

蔦原 亮

【論文】

- “Medir la dificultad léxica de verbos transitivos Los casos de *poner, tomar, llevar, dar y sacar*”. *Hispánica*, 63, pp. 45-70.

【その他】

- 「擬似連結動詞としての *ir* と *go* に関する対照研究」日本イスパニヤ学会第65回大会 拓殖大学。(DEC-2019)
- 「現代スペイン語における語形成：新語の語源に着目して」日本ロマンス語学会第58回大会 愛知県立大学。(MAY 2020)
- 「譲渡・付加を表す動詞とその慣習表現」日本イスパニヤ学会第66回大会 オンライン開催。(OCT 2020)

土屋 智行

【著書】

- 『言語と慣習性』, ひつじ書房, 全131ページ, 2020年2月。(単著)

デカマス、ガブリエル Decamous, GABRIELLE

【論文】(Article)

- Art, Censorship and Nuclear Warfare. MIT Press (online), pp. 1-8, February 13, 2020.

中里見 敬**【論文】**

- 「濱一衛的三次訪華及其観劇活動：兼濱文庫所蔵戯単考察与整理」『戯曲研究』第113輯（中国芸術研究院戯曲研究所），30-45頁，2020年4月。（単著）

【その他】

- 「濱文庫所蔵レコード目録」『九州大学附属図書館研究開発室年報』2019/2020，1-26頁，2020年7月。（共著，目録）
- 「初学者に立ち返る：粵語学習の経験から」2019年度中国語・韓国語合同FD，2020年2月3，6日。（口頭発表）

浜本 裕美**【論文】**

- 浜本裕美「ヴィクトリア朝英国におけるホメーロス問題」、『ペディラヴィウムーヘブライズムとヘレニズム研究』第74号，pp. 41-69，2020年1月。

【その他】

- 鈴木右文，横森大輔，田中俊也，大橋浩，ショーン・オドワイヤー，スティーブン・レイカー，クリストファー・ハズウェル，浜本裕美「コンパクトな大学学術英作文・プレゼンテーション教材の試み」『言語科学』（九州大学大学院言語文化研究院言語研究会）第55号，pp. 19-26，2020年3月。（解説）

劉 轟**【著書】**

- 「現代中国語の形状類別詞『条』『根』『道』に関する研究」米倉よう子・山本修・浅井良策（編）『ことばから心へ——認知の深淵（吉村公宏教授退職記念論文集）』，開拓社，pp. 154-164，2020年3月。（共著）

【その他】

- 「初級中国語授業における暗唱とその効果」，次世代大学教育研究会（番外編），遠隔，2020年3月2日。（口頭発表）

国際文化共生学部門**国際共生学講座****阿部 吉雄****【論文】**

- 「資料調査：上海の無国籍避難民指定地域への爆撃」『言語文化論究』（九州大学大学院言語文化研究院）第44号，pp. 75-84，2020年3月。

【その他】

- 「日本のユダヤ専門家による対ユダヤ工作」九州大学大学院人間環境学府，ショック・ドクトリン研究会，西新プラザ，2020年1月19日。（口頭発表）

岡本 太助**【その他】**

- 岡本太助, 矢倉喬士, Robert Preslar, Azrail 「アメリカ文学を実況プレイ! 『DETROIT: BECOME HUMAN』を読む (Playing American Literature, Reading *Detroit: Become Human*)」九州アメリカ文学会, 12月例会シンポジウム, 西南学院大学, 2019年12月14日.

オドワイヤー、ショーン Shaun O'dwyer**【著書 Books】 (chapter)**

- “Paternalistic Knowers and Erroneous Belief”. In G. Axtell and A. Bernal (eds) *Epistemic Paternalism: Conceptions, Justifications and Implications*. London: Rowman and Littlefield, pp. 279-293. June 2020.

【論文 Articles】

- “Confucian Democrats, not Confucian Democracy”. *Dao* 19 (2) pp. 209-229, June 2020.

谷口 秀子**【論文】**

- 「わたなべまさこ『おかあさま』における修辭的男装——ジェンダー越境とジェンダー・イメージ——」, 『日本語とジェンダー』, 日本語ジェンダー学会, 第18号, pp. 1-16, 2019年12月. (単著)

ハズウェル、クリストファー ガレス Christopher G. HASWELL**【論文】 (Articles)**

- 「Reinvestigating the experiences of teachers and their teaching assistants at internationalized Japanese universities」『九州大学言文論究 No. 44』 pp. 27-38, 2020年03月.

【その他】 (Others)

- 「Essentializing cross-cultural communication competencies in English language teaching」Fukuoka JALT, Fukuoka, 2020年02月15日. (with A. Hahn) (Invited Presentation) (口頭発表)

福元 圭太**【著書】**

- 『賦靈の自然哲学 フェヒナー、ヘッケル、ドリーシュ』九州大学出版会, 全530頁, 2020年10月. (単著)